

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成27年11月8日
〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話093(541)2409番

帰命無量寿如来 南無不可思議光

無量寿如来に帰命し 不可思議光に南無したてまつる

阿弥陀さまへ、帰敬のまことを表す

「正信偈」全体はこの二句にすべて集約されます。親鸞聖人ご自身の「阿弥陀さまにまかせます」という信の表明です。同時に私の阿弥陀さまへの帰敬の心を表します。

私たちのご本尊、阿弥陀様は、インドの言葉「アミタ」を漢字に当てたものです。アミタとは「量ることが出来ない、かぎりない＝無量」という意味です。

親鸞聖人はインド以来の伝統にしたがって「阿弥陀」の意味を二つに分け、寿命(いのち)と、光明(ひかり)が限りない仏さまであるとお示しく下さいました。

かぎりないいのちの如来さま

「無量寿如来」いのちが限りない仏さまとは、いつまでも、永遠の慈悲をもって私たちをお救いくださる仏さまです。

かぎりないひかりの如来さま

「不可思議光」とは、人間の思議を超えるほど光が限りない仏さまということです。どこにいても、どこでも真実の智慧のひかりをもって私たちを照らして下さる仏ということです。

私たちが照らし、依りどころとなる仏さま

「慈悲」とは「わたしを慈しみ、私と悲しみを共にするところ」です。私の喜びも、悲しみや苦しみも、いつも共にして下さるのです。一緒に泣いてくださる仏さまです。

「智慧」の光で常に私を照らし、私の本当の姿、つまり、煩惱を抱え、苦悩の中を生きる私であることを知らせて下さいます。

そして、同時に、限りあるいのちを生きる私、無明の闇に生きる私の依りどころとなつて下さるのです。

限りない命の如来に帰命し、思いはかることのできない光の如来に帰依したてまつる
≪「正信偈」ガイドより≫

専如門主 伝灯報告法要

修行日程決まる

このたび、第25代専如門主の伝灯奉告法要の修行期日のご治定になりましたのでご案内いたします。

1. 修行期日（全10期80日80座）

◎2016（平成28）年

- 第1期 10月 1日（土）から10月 8日（土）まで
- 第2期 10月20日（木）から10月27日（木）まで
- 第3期 11月 4日（金）から11月11日（金）まで
- 第4期 11月18日（金）から11月25日（金）まで

◎2017（平成29）年

- 第5期 3月 7日（火）から3月14日（火）まで
- 第6期 3月28日（火）から4月 4日（火）まで
- 第7期 4月11日（火）から4月18日（火）まで
- 第8期 4月25日（火）から5月 2日（火）まで
- 第9期 5月 9日（火）から5月16日（火）まで
- 第10期 5月24日（水）から5月31日（水）まで

法要は1日1座（午後）とし、本山において修行される。

ただし、2017（平成29）年4月18日に限り、大谷本廟において修行される。



小倉組の伝灯報告法要団体参拝 の予定は下記のとおりです。

詳しい案内は後日パンフレットができてからご案内いたします。

参拝ができますようご準備ください。参加お待ちしております。

第2期 10月23日（日）を参拝日として日程作成予定

第6期 3月28日（火）を参拝日として日程作成予定

平成27年度分

報恩講の際ご進納ください。

* 『お仏飯米』

* 『門信徒護寺会費』

年間1口 金 3,000円以上

* 『納骨所維持管理費』

管理費年間 金 3,000円

「位牌会」（いはいえ）のご案内

本年も、有縁の門信徒の方々よりお預かりしました「ご位牌」や、古くなった仏具等の最後のお別れをし、焼却処分いたします。まだ処分するものがあつたら当日ご持参ください。ご一緒にお別れいたしましょう。

◎ 12月20日（日）

午後3時より 本堂にて お勤め

午後3時半より 境内にて 焼却開式
（保育園運動場にて点火します。）

ご 案 内

御 正 忌 報 恩 講 法 要

11月	21日(土)	22日(日)
昼 席	午後1時30分	おとき 12時より 午後1時30分

講 師 21日 正行寺住職 西村正宣 師
22日 正善寺住職 自 勤

お寺からのお願いです

「お 磨 き」11月18日(水)

10:00より15:00 まで

報恩講を迎えるにあたり本堂の金仏具を磨き、納骨堂等のお掃除をします。昼食準備しています。沢山の方のお手伝い 男性の方もお待ちしております。

正善寺かすみ草の会お磨きとあわせ開催します。お集まりください。

「お 齋 接 待 」ご 案 内

正善寺の精進料理をぜひ

お召し上がり下さい。

おまちしております

11月22日(日) 正午より

前もっての予約などはいりません

《お齋券》をお持ちください

かすみ草の会の皆さんは 9時集合

来 年(28年) の 年 忌 法 要

()内は来年の対象年次数です。

- ・ 一 周 忌 (平成27年往生)
- ・ 三 回 忌 (平成26年往生)
- ・ 七 回 忌 (平成22年往生)
- ・ 十 三 回 忌 (平成16年往生)
- ・ 十 七 回 忌 (平成12年往生)
- ・ 二 十 五 回 忌 (平成 4年往生)
- ・ 三 十 三 回 忌 (昭和59年往生)
- ・ 五 十 回 忌 (昭和42年往生)

小倉組行事 参 寺 参 り さんてらまいり

小倉組内の28寺で勤められる「報恩講法要」のうち、3ヶ所の寺院を訪ね、聴聞しようという企画です。各寺院にはお寺シールが準備しています。まずは我がお寺から。お待ちしております。

ご懇志封筒について

法要へのご懇志につき、封筒を準備しましたのでご利用し、お供え下さい。氏名と住所を記入して受付に収め下さい。

行事ご案内【報恩講は浄土真宗門信徒の最も大切な法要】

第81回 おゆうぎかい

とき 12月5日【土】 9:30より ところ 神岳保育園ホール

除夜会 12月31日(木) 大晦日

除夜の鐘 午後11時より 今年最後のお勤め

午後11時30分から 午前1時まで どなたでもご自由に

百八鐘 までは 鐘打番号入りの華葩-けは(仏前で撒く花びらをかたどったもの)を記念に差し上げます。葉等にお使いください。

平成28年 元旦会 元旦 午前1時より(除夜会終了後)

次回の法要のご案内

春季彼岸法要

【とき】 平成28年3月15日(火)昼席・16日(水)昼席・17日(木)昼席

【講師】(下関市)本願寺派布教使 寺田教昭 師

編集後記

秋陽よりが続き高い高い空をながめては、色々なことに想いをはせています。「泣かないで、お経をあげなさい」二か月ほど前にみた夢の中の言葉がこの間の私を支えてくれています。

9月5日の夜中、目が覚めてお浄土に往った父のことおもいだし、布団の中で泣きました。泣きながらいつの間にかまた眠っていたら、早朝父が夢に出てきて先ほどの言葉をいいました。夜中に眼が覚めて泣いたのは、あーもう父に今生で会えないというさみしさと、癌という病を告知されてからの数年、お父さんは眠れない夜をいくつ超えたのだろう、どんな思いで夜中に孤独と戦ったのだろう、そばにいて手を握ってあげられた夜があったらよかったのになあとそんなことを想ったからです。止まない雨はないし、朝のこない夜はないし、涙はいつかは止まる。そんなことはわかっているけれど、今まさに不安の悲しみの中にある心によりそえるものは何だろうと、父の死を通してずっと考えていました。きっとそんな頼りない私の姿を心配して「阿弥陀様がおられるじゃないか」父は伝えに来てくれたのだと思います。お寺に嫁いだことを、阿弥陀様のお給仕をさせてもらえるところに娘がいることを、一番喜んでいてくれた父の、まだまだわからん娘へ届けてくれた言葉「泣かないで、お念仏称えなさい」だったと思います。

「受け止める大地のありて椿落つ」父の大好きな言葉でした。亡くなる四日前、里を訪ね、庭に咲く夏椿をながめる母や姉や私に父がそっと後ろから「受け止める大地のありて椿落つ」父の声が今もそのまま私の中に生きています。それは、父は今生でもう阿弥陀様に抱きかかえられているよということおも伝えていてくれたのだと思います。

報恩講、心をこめて勤めさせていただきます。仏様のお話にお心をかたむけられませんか心よりお待ちしております。 称名